

令和2年(2020年)12月18日



GW三島が進めている雷井戸の整備
＝三島市南本町(10月撮影)

国連の機関

三島の事業にアジア都市景観賞

GWや市源兵衛川再生など評価

三島市で行われている「『水の都・三島』の環境資源を地域協働で再生して『水と緑の湧水網都市』創造事業」が、2020アジア都市景観賞(国連ハビタット福岡本部など主

催)を受賞した。事業主体はNPO法人グラウンドワーク三島、県三島市など。今年、国内では長崎市と大分市で実施されている事業も受賞した。国連ハビタットは都市化と居住の問題に取り組む機関。

同賞は、地域環境と共存し文化、歴史を尊重した景観形成を進める事業が対象。同NPO(申請者)が中心となって活動してきた源兵衛川の再生、三島梅花藻の里や「境川・清住緑地」湧水公園の整備、歴史的井戸、お不動さん、水神さん、ホタル生息の復活などが評価された。同NPOの渡辺豊博専務は「今後、三島市